

旅費業務の見直し

～これまでの取組と成果について～

平成30年3月

内閣官房行政改革推進本部事務局

経済産業省商務情報政策局

これまでの取組

平成
28
年

- 平成28年7月29日 旅費・会計等業務効率化推進会議【次官級会議】(第2回)
⇒ 「**旅費業務の効率化に向けた改善計画**」を決定
- 平成28年8月5日 旅費・会計等業務効率化推進会議幹事会【課長級会議】(第1回)
⇒ 改善計画に基づき、担当者の意識改革等の速やかな実施を依頼
- 平成28年9月～ 旅費業務効率化推進タスクフォース【実務担当者級会議】
⇒ 平成28年12月「**旅費業務に関する標準マニュアル**」を改定 (各府省等申合せ)

＜平成29年1月 旅費支払期間モニタリング ← 今後の改善度合いを測るための基礎となるデータを収集＞

平成
29
年

- 平成29年1月18日 旅費・会計等業務効率化推進会議幹事会(第2回)
⇒ 改定標準マニュアルを踏まえた、着実な実施を依頼

幹事会(第2回)以降、以下の取組を適時実施

- ✓ 各府省においては、標準マニュアルの改定に基づき内規等を整備 ⇒ 平成29年4月施行
- ✓ 経済産業省においては、改善計画に基づき旅費等内部管理業務共通システム(以下「SEABIS」という。)の改修を実施(平成28、29年度に分けて実施)
- ✓ 内閣官房行政改革推進本部事務局においては、各府省に対するフォローアップを実施

平成
30
年

- ＜平成30年1月 旅費支払期間モニタリング ← 改善度合いを測るための最新のデータを収集＞
- 平成30年3月29日 旅費・会計等業務効率化推進会議幹事会(第3回)

旅費業務の見直しの概要

改善計画（H28.7.29）

【旅費・会計等業務効率化推進会議（次官級会議）決定】

1 職員の意識改革

- 旅費の精算は、速やかに起案・決裁
 - 課室長は旅費業務の効率的な処理を確保
- 等

2 業務処理の改善

- 「最も経済的な通常の経路」の選定方法の合理化
 - 決裁に必要な添付書類の合理化
 - 旅客取扱施設利用料等の支給方法の合理化
 - 日当の支給方法の合理化
 - 決裁階層の簡素化
- 等

各府省において省内に周知・徹底

（具体例）

- 省内の幹部会議の場で会計課長から依頼
- 長期滞留案件について、個別に状況を聴取り、早期の起案・決裁を依頼

標準マニュアルを改正（H28.12）

- SEABISの検索結果の合理的な絞り込み。経路の妥当性は、旅行命令権者が判断
- 同じ項目を複数の書類で確認する運用を廃止
- 旅客取扱施設利用料等は、日当ではなく、航空賃に含めて実費支給化
- 100km以上の旅行では、諸雑費の発生を案件ごとに確認することなく定額支給に変更
- 決裁時の審査項目に不要な重複が生じないよう、明確化・重点化を実施

※ 赤字はSEABIS改修関連項目

旅費支払期間モニタリングの実施

旅費支払期間モニタリングの結果等を踏まえ、各府省において、改善すべき点を把握し、更なる迅速化に取り組む

取組の成果(旅費支払期間モニタリングの結果)

- 改善の度合いを測るため、
全府省における(注)、旅行終了日から支払日までの期間の旅費データを収集

(注) 対象案件：精算にSEABISを使用した旅行に加え、本省(内部部局及び外局)においては、SEABISを使用しなかった旅行

<旅費支払期間モニタリングの結果>

	今回の結果 (30.1.14～1.27)	昨年同時期 (29.1.15～1.28)	【参考】一昨年同時期(※) (28.1.17～1.30)
平均支払日数	34.7日	40.1日	51.0日
支払が30日以内	25,612件(51.6%)	18,402件(38.3%)	8,428件(21.0%)
総件数	49,680件	48,046件	40,109件

(※) 一昨年同時期(28.1.17～1.30)のデータは、精算にSEABISを使用した旅行のみ。



旅費改善計画及び改定標準マニュアルに基づく旅費業務の効率化に向けた取組により、旅費支払期間の短縮に向けて着実に進捗